

会津若松地方広域市町村圏整備組合有機性廃棄物リサイクル推進施設（し尿処理施設）
整備・運営事業に係る客観的評価結果の公表

会津若松地方広域市町村圏整備組合有機性廃棄物リサイクル推進施設（し尿処理施設）整備・
運営事業を実施する民間事業者を決定したので、その客観的な評価の結果をここに公表します。

平成30年3月30日

会津若松地方広域市町村圏整備組合
管理者 室井照平

有機性廃棄物リサイクル推進施設
(し尿処理施設)
整備・運営事業

審査講評

平成 30 年 3 月

会津若松地方広域市町村圏整備組合
有機性廃棄物リサイクル推進施設(し尿処理施設)
整備・運営事業に係る事業者選定委員会

目 次

第1章 事業の概要	1
第2章 落札者選定の方法	3
第3章 落札者選定の手順	4
第4章 最優秀提案者の選定結果	9
第5章 総評	15

第1章 事業の概要

1 事業名称

有機性廃棄物リサイクル推進施設（し尿処理施設）整備・運営事業（以下「本事業」という。）

2 対象となる公共施設の種類

一般廃棄物処理施設

3 公共施設の管理者の名称

会津若松地方広域市町村圏整備組合 管理者 室井照平

4 事業の目的

会津若松地方広域市町村圏整備組合（以下「組合」という。）の将来にわたる適正かつ効率的なし尿処理を確保するため、現有施設をし尿、浄化槽汚泥その他有機性廃棄物（農業集落排水処理汚泥）を処理、資源化する「有機性廃棄物リサイクル推進施設（し尿処理施設）」として更新して、生活環境の保全を図り、資源の有効利用に資するとともに、経済性を追求した運転管理を実施することを目的とする。

5 事業の内容

(1) 事業方式

本事業は、DBO方式（Design：設計、Build：建設、Operate：運転管理）により実施する。

組合は、本件施設の設計・建設及び運転管理に係る資金を調達し、本件施設を所有する。また、本件施設の整備事業については、循環型社会形成推進交付金の対象事業として実施する。

事業者は、組合の所有となる本件施設の設計・建設及び運転管理に係る本事業を一括して行うものとする。

なお、組合は本件施設を30年間以上にわたって使用する予定であり、事業者は30年間以上の使用を前提として本事業を行うものとする。

(2) 事業契約

組合は、事業者の本事業の設計・建設及び運転管理業務を一括で委託するために、落札者及び運営事業者と本事業に係る基本契約を締結する。

また、組合は、基本契約に基づき、事業者のうち建設工事請負事業者と本事業に係る建設工事請負契約を締結する。さらに、組合は、基本契約に基づき、運営事業者と本事業に係る運転管理業務委託契約を締結する。

(3) 事業期間

事業期間は次のとおりとする。

ア 設計・建設期間（予定）

平成30年5月（組合議会の議決の日）から平成33年3月まで

イ 運転管理期間（予定）

平成33年4月から平成48年3月31日まで

(4) 事業場所

項目	内容
事業場所	福島県会津若松市神指町大字南四合字才ノ神地内 (現有施設がある環境センターの敷地内)
敷地面積	約 3,300m ² (工事範囲として)

(5) 本件施設の概要

項目	内容
処理能力	211kL/日 (し尿:80kL/日、浄化槽汚泥(農業集落排水処理汚泥を含む。):131kL/日)
処理方式	水処理:膜分離高負荷脱窒素処理方式 又は浄化槽汚泥の混入比率の高い脱窒素処理方式 資源化:助燃剤化方式
付帯施設等	構内道路、雨水排水、洗車場

(6) 現有施設の概要

項目	内容
処理能力	226kL/日 (し尿第1施設:126kL/日、し尿第2施設:100kL/日)
処理方式	水処理:好気性消化・活性汚泥法処理方式(2系列)+高度処理 汚泥処理:機械濃縮+脱水 脱臭処理:前処理施設高濃度臭気:生物脱臭 前処理、し尿第1施設低濃度臭気:アルカリ・次亜塩洗浄 し尿第2施設臭気:水洗浄
竣工年度	昭和55年度 し尿第1施設、し尿第2施設 昭和59年度 汚泥脱水施設 平成6年度 前処理施設
付帯施設等	管理棟、車庫・倉庫

第2章 落札者選定の方法

1 入札の方法

入札は、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）の規定に基づき、総合評価方式制限付一般競争入札方式により実施した。

2 選定委員会の設置

会津若松地方広域市町村圏整備組合有機性廃棄物リサイクル推進施設（し尿処理施設）整備・運営事業に係る事業者選定委員会設置要綱に基づき設置された「会津若松地方広域市町村圏整備組合有機性廃棄物リサイクル推進施設（し尿処理施設）整備・運営事業に係る事業者選定委員会」（以下「選定委員会」という。）において、技術提案書の審査等を行った。

委員構成は次表に示すとおりである。

表 選定委員会の委員構成

区 分		氏 名	所 属 ・ 役 職
学識経験者	委員長	荒井 喜久雄	公益社団法人 全国都市清掃会議 技術指導部長
	副委員長	樋口 良之	国立大学法人 福島大学 教育研究院教授（共生システム理工学類）
	委員	中村 玄正	日本大学 名誉教授 NPO法人輝く猪苗代湖をつくる県民会議 理事長
	委員	伊与 亨	北里大学 医療衛生学部公衆衛生学研究室 講師
行政機関	委員	長沼 弘雄	会津若松市 市民部廃棄物対策課長
	委員	白井 良人	会津若松地方広域市町村圏整備組合 事務局長
	委員	古川 尊啓	会津若松地方広域市町村圏整備組合 環境センター 所長

※所属・役職は委嘱時のものである。

表 異動となった委員

区 分		氏 名	所 属 ・ 役 職
行政機関	委員	渋川 慶一	会津若松市 市民部廃棄物対策課長

※所属・役職は委嘱時のものである。

3 選定委員会の開催経過

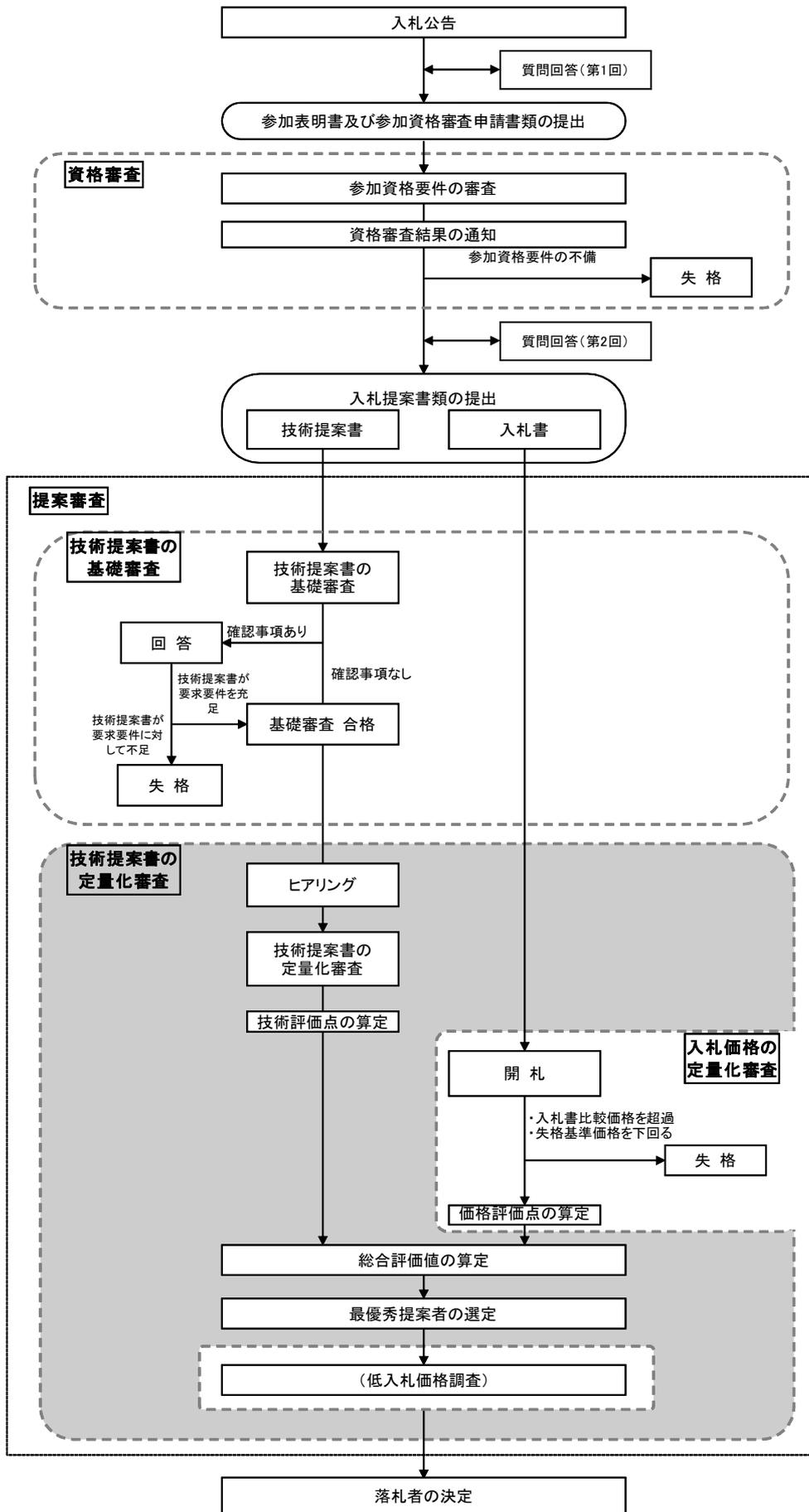
本事業の事業者選定における選定委員会の開催経過は、次表に示すとおりである。

表 選定委員会の開催経過

日 付	内 容
平成 29 年 1 月 26 日	第 1 回選定委員会 (中間処理施設整備の基本的な考え方、事業者選定のスケジュール、実施方針等に関する審議)
平成 29 年 3 月 28 日	第 2 回選定委員会 (実施方針、入札説明書等に関する審議)
平成 29 年 5 月 12 日	第 3 回選定委員会 (実施方針、入札説明書等、予定価格に関する審議)
平成 30 年 1 月 26 日	第 4 回選定委員会 (基礎審査結果の確認、評価方法・審査手順に関する審議、技術提案書に関する意見交換)
平成 30 年 2 月 23 日	第 5 回選定委員会 (評価方法・審査手順の確認、仮評価結果・ヒアリング事項に関する意見交換)
平成 30 年 2 月 24 日	第 6 回選定委員会 (技術提案書に関するヒアリング、技術提案書の定量化審査、入札価格の定量化審査結果の確認、総合評価、最優秀提案者の選定)
平成 30 年 3 月 23 日	第 7 回選定委員会 (審査講評に関する審議)

第 3 章 落札者選定の手順

本事業における事業者の選定は、総合評価方式制限付一般競争入札により、次図に示すとおり「資格審査」及び「提案審査」の 2 段階で実施した。



■ : 選定委員会の審査・評価に係る事務範囲

図 落札者選定の手順

1 資格審査

組合が、入札参加希望者より提出された参加表明書及び参加資格審査申請書類を審査し、入札説明書に規定する入札参加資格要件を満足していることを確認した。

2 基礎審査

(1) 入札提案書類の確認

組合が、提出された入札提案書類が全て揃っていることを確認した。

(2) 技術提案書の基礎審査

組合が、技術提案書を審査し、次の基礎審査項目を満たしていることを確認した。

ア 技術提案書の内容が要求水準書に示す要求水準を満たしていること。

イ 入札説明書及び様式集に示す技術提案書の作成に関する条件について違反のないこと。

ウ 技術提案書全体について、同一事項に対する2通り以上の提案又は提案事項間の齟齬、矛盾等がないこと。

3 定量化審査

(1) 定量化審査の配点

技術提案書及び入札価格は、次の配点により定量化を行った。

項目	配点
技術提案書	70点
入札価格	30点

(2) 技術提案書の定量化審査

技術提案書に記載された内容について、次の審査方法に従って定量化を行った。

ア 審査項目と配点

定量化審査による得点が技術点の値となるため、審査項目、審査の視点及び配点については、組合が本事業に対して民間の創意工夫の提案を期待する度合いにより設定した。したがって、審査項目は、組合が民間に創意工夫を期待している事項であり、配点はその重要度を表したものである。

審査項目、審査の視点及び配点については、次表のとおりである。

表 審査項目、審査の視点及び配点

審査分類	審査項目	審査内容	審査の視点	配点
1. 安定稼働に優れた施設	(1)処理システム	①変動対策	長期的・短期的なし尿等の量的、質的変動への対応策について、優れた提案がなされているか。	6
	(2)公害防止対策	①処理性能	放流水量の低減や水質の安定化を図る優れた提案がなされているか。	5
2. 環境にやさしい施設	(1)環境対策	①長寿命化対策	建物、設備・機器類の長寿命化対策について、優れた提案がなされているか。	5
		②地球環境の保全	省資源、省エネルギー、地球温暖化防止等の環境対策について、優れた提案がなされているか。	4
	(2)景観への配慮	①施設の意匠	施設の外観等について、景観条例や周辺環境との調和等を配慮した優れた提案がなされているか。	4
3. 臭気対策に優れた施設	(1)臭気対策	①漏洩防止	沈砂、脱水し渣、助燃剤の運搬を含む施設全体の臭気漏洩防止について、優れた提案がなされているか。	6
		②脱臭対策	高濃度、中濃度、低濃度臭気の脱臭対策について、優れた提案がなされているか。	6
4. 安全に配慮した施設	(1)施設計画	①施設の配置・平面計画	施設の配置・平面計画において、敷地の有効利用を考慮した優れた提案がなされているか。	5
		②動線計画	効率的で安全な維持管理・運営が可能となるような車両動線及び機能的で安全な作業員・見学者動線について、優れた提案がなされているか。	4
	(2)緊急時対応	①自然災害時・事故時の対策	地震、暴風、水害等の自然災害時及び事故時の対策について、優れた提案がなされているか。	5
5. 運転管理に優れた施設	(1)運転管理	①運転管理方法	効率のよい経済的な施設の運転管理方法について、優れた提案がなされているか。	5
	(2)保全管理	①設備・機器類のトラブル防止策	設備・機器類のトラブルの未然防止策について、優れた提案がなされているか。	5
6. その他	(1)地域経済への貢献	①地元企業等との協力・連携	地元企業等との協力・連携について、優れた提案がなされているか。	5
		②地域経済の活性化	本事業を通じての構成市町村圏域からの物品調達等、地域経済の活性化について、優れた提案がなされているか。	5
計				70

イ 技術提案に関する得点化方法

(a) 提案を求めている審査項目においては、次に示す 5 段階評価による得点化方法により得点化を行った。

評価	判断基準	得点化方法
A	当該評価項目において、特に優れている	配点×1.0
B	AとCの中間程度	配点×0.75
C	当該評価項目において、優れている	配点×0.5
D	CとEの中間程度	配点×0.25
E	当該評価項目において、要求水準を満たす程度	配点×0.0

(b) 各審査項目の技術評価点については、次の算定式①による各委員が個別に行った技術評価点の平均値とした。なお、平均値を求める際は、少数第 3 位を四捨五入した値とした。

算定式① 技術提案書の定量化審査の得点算定式

$$\left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{技術提案書の定量化審査の得点} \end{array} \right) = \frac{\sum (\text{各審査項目} \times \text{技術評価点の配点率})}{\text{委員人数}}$$

(c) 上記(b)の結果をもとに、各入札参加者の技術評価点を算出した。

(3) 開札及び入札価格の確認

組合が、提出された入札価格について、次の項目を満たしていることを確認した。

ア 入札価格が入札書比較価格を超えていないこと。

イ 入札価格が会津若松地方広域市町村圏整備組合有機性廃棄物リサイクル推進施設（し尿処理施設）整備・運営事業に係る低入札価格調査取扱要領（平成 29 年 8 月 31 日決裁）に基づく失格基準価格を上回っていること。

また、入札価格の確認のための開札は、技術提案書の定量化審査終了後、入札説明書の規定に基づき実施し、失格となっていない価格提案のみ入札価格の得点化を行った。

(4) 入札価格の定量化審査

価格提案においては、入札価格について、次の算定式②により価格評価点を組合が算出した。なお、価格評価点は小数第 3 位を四捨五入した値とした。

算定式② 入札価格の定量化審査の得点算定式

$$\left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{入札価格の} \\ \text{定量化審査の得点} \end{array} \right) = 30 \text{点} \times \frac{\text{最低入札価格}}{\text{当該入札参加者の入札価格}}$$

(5) 総合評価値の算定方法

「(2) 技術提案書の定量化審査」及び「(4) 入札価格の定量化審査」に規定する得点算定式により算出した各入札参加者の評価点から、次に示す算定式③により、各入札参加者の総合評価値を算定した。

算定式③ 総合評価値の算定式

$$\left(\text{当該入札参加者の総合評価値} \right) = \left(\text{当該入札参加者の技術提案書の定量化審査の得点} \right) + \left(\text{当該入札参加者の入札価格の定量化審査の得点} \right)$$

第4章 最優秀提案者の選定結果

1 資格審査

平成29年9月1日に入札公告を行い、平成29年9月27日までに参加表明書及び参加資格審査申請書類を受け付けたところ、下表の4グループから申請があった。

提出された参加表明書及び参加資格審査申請書類をもとに、組合が資格審査を行った結果、4グループはいずれも入札参加資格要件を満足していることが確認されたため、平成29年10月6日に、4グループの代表企業に対し、参加資格を有することを書面にて通知した。

表 参加表明書及び参加資格審査申請書類提出グループ

審査時のグループ名	ゆりグループ	あやめグループ	きくグループ	すみれグループ
参加表明時のグループ名	三井・マルト・アークス・佐藤特定建設工事共同企業体	クボタ環境グループ	水ing・弓田・東邦・萩生田グループ	日立造船グループ
代表企業	三井造船環境エンジニアリング株式会社	クボタ環境サービス株式会社	水ing株式会社東北支店	日立造船株式会社東北支社
構成企業	マルト建設株式会社	株式会社東北入谷まちづくり建設	株式会社弓田建設	株式会社共立土建
構成企業	株式会社アークス会津	株式会社会津電気工事	東邦工業株式会社	株式会社目黒工業商会
構成企業	株式会社佐藤電設	会津ガス株式会社	株式会社萩生田電設	ハッ橋設備株式会社
構成企業			水ing株式会社福島営業所	

なお、選定委員会による審査に当たっては、審査の公平性を期すため、技術提案書等すべての書類において各グループの企業名は伏せ、表の「審査時のグループ名」で識別して審査を行った。

2 技術提案書の基礎審査

平成29年12月14日までに、参加資格を有する4グループから技術提案書が提出された。

提出された技術提案書をもとに、組合が基礎審査を行った結果、4グループはいずれも基礎審査項目を満足していることが確認されたため、平成30年1月29日に、4グループの代表企業に対し、基礎審査を合格とすることを書面にて通知した。

3 技術提案書の定量化審査

選定委員会は、平成30年2月24日に技術提案書の定量化審査を行った。審査に際してはヒアリ

ングを行い、入札参加者による技術提案書等の説明（プレゼンテーション）及び提案内容に対する質疑応答を実施した。

ヒアリングの内容を踏まえて、技術提案書の定量化審査の各審査項目について、適確な提案がなされているかの審査を行い、技術提案書に関する得点化を行った。なお、評価は、組合の要求する水準を満たしたうえで、より優れた提案に対して評価を行う加点方式とした。

技術提案書の定量化審査結果は、次表に示すとおりである。

表 技術提案書の定量化審査結果

(単位:点)

審査分類	審査項目	審査内容	配点	ゆり グループ	あやめ グループ	きく グループ	すみれ グループ
1. 安定稼働に 優れた施設	(1)処理システム	①変動対策	6	4.50	4.50	4.71	4.50
	(2)公害防止対策	①処理性能	5	4.11	4.29	4.29	3.39
2. 環境にやさしい施設	(1)環境対策	①長寿命化対策	5	3.39	3.93	3.39	3.57
		②地球環境の保全	4	2.71	3.00	2.71	2.71
	(2)景観への配慮	①施設の意匠	4	2.29	2.57	3.14	2.43
3. 臭気対策に 優れた施設	(1)臭気対策	①漏洩防止	6	4.29	4.71	4.50	4.50
		②脱臭対策	6	4.50	4.71	4.71	4.29
4. 安全に配慮 した施設	(1)施設計画	①施設の配置・ 平面計画	5	3.21	3.57	3.21	3.93
		②動線計画	4	2.29	2.43	2.86	2.86
	(2)緊急時対応	①自然災害時・ 事故時の対策	5	3.57	3.04	3.75	3.75
5. 運転管理に 優れた施設	(1)運転管理	①運転管理方 法	5	2.86	3.21	3.57	2.86
	(2)保全管理	①設備・機器類 のトラブル防止 策	5	4.11	3.04	3.93	3.75
6. その他	(1)地域経済へ の貢献	①地元企業等と の協力・連携	5	3.39	3.39	3.57	3.57
		②地域経済の活 性化	5	3.75	2.86	2.86	3.93
計			70	48.97	49.25	51.20	50.04

4 入札価格の定量化審査

組合が、技術提案書を提出した入札参加者の立会いのもと、平成30年2月24日に開札を行い、全ての入札参加者について入札価格が予定価格の範囲内であることを確認した。組合は、入札価格が予定価格の範囲内であることが確認された入札書について入札価格の定量化審査を行い、選定委員会はその結果の報告を受けた。入札価格の定量化審査結果は、次表に示すとおりである。

表 入札価格の定量化審査結果

項目	配点	ゆりグループ	あやめグループ	きくグループ	すみれグループ
入札価格(円)	-	8,447,000,000	8,234,000,000	8,730,000,000	8,233,773,000
設計・建設業務 (円)	-	4,544,000,000	4,850,000,000	4,830,000,000	4,812,952,000
運転管理業務 (円)	-	3,903,000,000	3,384,000,000	3,900,000,000	3,420,821,000
得点(点)	30	29.24	30.00	28.29	30.00

5 総合評価値の算定

選定委員会は、技術提案書の定量化審査及び入札価格の定量化審査の結果に基づき、技術提案書の定量化審査の得点及び入札価格の定量化審査の得点を合計し、総合評価値の算定を行った。総合評価値の算定結果は、次表に示すとおりである。

表 総合評価値の算定結果

(単位:点)

項目	配点	ゆりグループ	あやめグループ	きくグループ	すみれグループ
技術提案書の 定量化審査の得点	70	48.97	49.25	51.20	50.04
入札価格の 定量化審査の得点	30	29.24	30.00	28.29	30.00
総合評価値	100	78.21	79.25	79.49	80.04
順位	-	4位	3位	2位	1位

6 最優秀提案者の選定

選定委員会は、上記の結果に基づきすみれグループを最優秀提案者として選定した。また、次点提案者としてきくグループを選定した。

なお、すみれグループの処理方式は、浄化槽汚泥の混入比率の高い脱窒素処理方式であった。

7 審査の講評

各グループの技術提案は、いずれも組合の要求水準以上のものであった。そのうち、技術提案書の定量化審査において高く評価した点は次表に示すとおりである。

表 各審査項目の講評

審査分類	審査項目	審査内容	講 評
1. 安定稼働に優れた施設	(1) 処理システム	①変動対策	きくグループについては、具体性のあるさまざまな質的・量的変動対策が提案されているとともに、提案内容の確実性が説明されている点を高く評価した。 その他のグループについては、最新の水処理技術の適用や、水槽の容量、設備・機器類の構成における工夫等を評価した。
	(2) 公害防止対策	①処理性能	きくグループ及びあやめグループについては、良質な水質の安定確保や、環境負荷低減のための具体策が提案されているとともに、提案内容の確実性が説明されている点を高く評価した。 その他のグループについては、設備・機器類の構成における工夫等を評価した。
2. 環境にやさしい施設	(1) 環境対策	①長寿命化対策	あやめグループについては、最新の水処理技術の適用や、要求水準を上回る各種の独自提案によって、耐用年数が定量的に提案されている点を高く評価した。 その他のグループについては、水槽、建築物、設備・機器類の耐用年数や、保全計画の考え方等を評価した。
		②地球環境の保全	あやめグループについては、CO2排出量削減の具体策が提案されているとともに、削減効果がわかりやすく示されている点を高く評価した。 その他のグループについては、土木・建築設備や、機械設備における工夫等を評価した。
	(2) 景観への配慮	①施設の意匠	きくグループについては、立地条件や地域性を考慮した提案がされている点を高く評価した。 その他のグループについては、周辺環境への配慮等を評価した。
3. 臭気対策に優れた施設	(1) 臭気対策	①漏洩防止	あやめグループについては、発生源への対策や、漏洩リスクの低減により漏洩を防止する提案等がされている点を高く評価した。 その他のグループについては、臭気抑制・漏洩防止に対する個別の具体的対策等を評価した。
		②脱臭対策	きくグループ及びあやめグループについては、具体性のあるさまざまな脱臭対策が提案されているとともに、内容の確実性が説明されている点を高く評価した。 その他のグループについては、濃度別の系統処理の考え方、処理性能確保のための具体的対策等を評価した。

審査分類	審査項目	審査内容	講 評
4. 安全に配慮した施設	(1) 施設計画	①施設の配置・平面計画	すみれグループについては、構内道路の安全確保、バキューム車のスムーズな搬入への配慮等が提案されている点を高く評価した。 その他のグループについては、気候等の地域性を踏まえた施設計画の提案等について評価した。
		②動線計画	すみれグループ及びきくグループについては、動線上の工夫により通行の安全が配慮されている点、見学者が見学しやすいよう配慮されている点を高く評価した。 その他のグループについては、使用者の利便性への配慮等を評価した。
	(2) 緊急時対応	①自然災害時・事故時の対策	すみれグループ及びきくグループについては、各災害発生時及び事故発生時に対して具体的な対策等が提案されている点を高く評価した。 その他のグループについては、緊急時対応における個別の具体的対策等の提案について評価した。
5. 運転管理に優れた施設	(1) 運転管理	①運転管理方法	きくグループについては、具体性のある運転管理方法と、提案内容の確実性が説明されている点を高く評価した。 その他のグループについては、自動化・省力化等の提案について評価した。
	(2) 保安全管理	①設備・機器類のトラブル防止策	ゆりグループについては、予防保全の考え方、検査結果の活用、引き渡し後にも配慮した提案がされている点を高く評価した。 その他のグループについては、個別の具体的対策等を評価した。
6. その他	(1) 地域経済への貢献	①地元企業等との協力・連携	すみれグループ及びきくグループについては、地元企業との連携や、地域との交流等の提案の確実性が説明されている点を高く評価した。 その他のグループについては、環境教育等の提案等を評価した。
		②地域経済の活性化	すみれグループについては、経済効果の大きさ、地元貢献の具体策等が提案されている点を高く評価した。 その他のグループについては、個別の具体的提案等を評価した。

第5章 総評

組合は、施設整備基本計画検討委員会を設置し、平成28年3月に策定した基本計画に基づき、有機性廃棄物リサイクル推進施設（し尿処理施設）の整備を計画してきた。事業方式については、民間の創意工夫を凝らした提案を取り入れることにより、より良質な施設的设计・建設業務と、安全で効率的かつ効果的な運転管理業務を実施することを目的として、施設的设计・建設及び運転管理を一括して事業期間を通して発注するDBO方式（Design：設計、Build：建設、Operate：運転管理）を採用することとなった。

選定委員会では、DBO事業を実施する事業者を選定するに当たって、透明性及び公平性に最大限配慮するとともに、今後、本事業が組合の環境行政の向上の一端を担うにふさわしい事業者を選定するべく審査を実施した。

今回、提案に参加した4グループは、いずれも本事業の目的や各業務の内容について良く理解し、組合が要求する水準を上回る内容の提案をしていただいた。各グループにおいては、提案内容が多岐にわたることから、技術提案書の作成においては多大な労力及び費用負担があったことが想定される。そうしたなかで提案をまとめた入札参加者の熱意及び姿勢に敬意を表するとともに、深く感謝する。

審査においては、提案書及び提案価格に対して厳正なる審査を行った結果、日立造船株式会社東北支社を代表企業とするすみれグループを最優秀提案者として選定するに至った。

選定委員会の審議においては、各グループの提案について「第4章 7 審査の講評」の事項を高く評価した。最優秀提案者であるすみれグループの提案については、特に施設の配置・平面計画、動線計画、自然災害時・事故時の対策、地元企業等との協力・連携及び地域経済の活性化に関する提案を高く評価した。

なお、上記の事項を評価する一方で、すみれグループの提案内容に対して、以下に示す配慮・要望事項が挙げられた。

- ① 要求水準事項及び提案事項を確実に履行すること。
- ② 公害防止基準を確実に遵守し、環境負荷の低減に配慮した施設の実現や運転管理に努めること。特に臭気対策については、万全を期すこと。
- ③ 30年以上の使用を想定し、適切な運転管理、設備・機器類の修繕により長寿命化に努めること。
- ④ 修繕時においても所定の性能が発揮できるよう、設備・機器類の構成、運転管理等に万全を期すこと。
- ⑤ 河川側からの景観にも配慮するなど、周辺環境との調和に努めること。
- ⑥ 河川が近いこと、積雪が多いことなどの地域性を十分に考慮したうえで、水害、風害、雪害、地震等の災害対策について万全を期すこと。
- ⑦ 地域住民から信頼される開かれた施設を目指すとともに、地域住民と良好な関係を築くこと。
- ⑧ 地元雇用や地元発注のより一層の拡大に努め、地域経済の発展に寄与すること。

最後に、事業期間を通じてすみれグループは、組合と連携した体制の構築に務めるとともに、地域との信頼関係を築きながら本事業を計画的かつスムーズに推進することを希望する。また、上記の配慮・要望事項について、本事業をより良いものとするために組合と十分な協議を行い、真摯な対応に努め、今後の事業期間にわたり質の高い公共サービスを提供するよう期待する。

平成30年3月

会津若松地方広域市町村圏整備組合有機性廃棄物リサイクル推進施設（し尿処理施設）
整備・運営事業に係る事業者選定委員会 委員長 荒井 喜久雄